
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2007年第16週
(4月16日～4月22日)

- * 今週は、感染症豆知識「チクングニア熱」も掲載しています。
- * 最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

2007年4月26日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 患者報告数 2007年16週


分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核		33	49	32	114	154	555
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ							3
	細菌性赤痢	1	2	4		24	12	159
	腸管出血性大腸菌感染症			1	1	6	15	208
	腸チフス					1	1	10
	パラチフス					2	1	5
四類	E型肝炎					1	1	18
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1			1	10	2	51
	エキノコックス症					1		5
	黄熱							
	オウム病					1		7
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2		41
	デング熱					1	3	18
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ #							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱							
	日本脳炎							1
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							1
	マラリア		1	2	1	7		14
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1			1	6	5	109	
レプトスピラ症			1		1		2	
ロッキー山紅斑熱								

五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3		4	1	45	9	221
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1		2	1	13	1	43
	急性脳炎 **		1	1		2	1	66
	クリプトスポリジウム症							1
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			3	1	50
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2		33
	後天性免疫不全症候群	11	10	14	6	142	17	373
	ジアルジア症	1	1			5		13
	髄膜炎菌性髄膜炎							5
	先天性風しん症候群							
	梅毒	2	2	1	4	31	5	140
	破傷風							16
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2		1		8		21
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2007/4/25集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

2007年14週集計分より「高病原性鳥インフルエンザ」から「鳥インフルエンザ」に変更

 感染症法改正前には全数把握対象疾患には含まれなかった疾患

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 32件

肺結核26件、リンパ節結核3件、その他3件で、推定感染地は国内31件、中国1件であった。年齢群は、20代6件、30代3件、40代4件、50代6件、60代3件、70代6件、80代4件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件

無症状病原体保有者で、血清型・毒素型はO150 VT1であった。先週報告のあった症例の関係者である(こちらもO150 VT1に修正)。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件

推定感染地は国内で、感染原因として刺身が疑われている。

マラリア 1件

三日熱マラリアで、推定感染地はナイジェリアであった。

レジオネラ症 1件

肺炎型で、推定感染地は国内、感染原因として水泳プールが疑われている。年齢は70代であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件

腸管外アメーバ症で、推定感染地は国内、感染経路は不明であった。

ウイルス性肝炎 1件

B型肝炎で、推定感染経路は性的接触(同性間)であった。

後天性免疫不全症候群 6件

無症候キャリア4件、AIDS2件で、推定感染経路はすべて性的接触(同性間4件、異性間1件、同性間・異性間1件)であった。

梅毒 4件

無症候梅毒2件、早期顕症梅毒 I 期1件、II 期1件で、推定感染経路は性的接触3件(異性間2、不明1件)、不明1件であった。

五類定点把握対象疾患 患者報告数 2007年16週

疾病名	2007年				4週合計	年累計
	13週	14週	15週	16週		
RSウイルス感染症	4	7	10	9	30	442
インフルエンザ	3,872	1,601	1,109	751	7,333	42,931
咽頭結膜熱	24	34	35	67	160	517
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	171	180	201	263	815	3,685
感染性胃腸炎	779	777	791	825	3,172	12,909
水痘	189	195	231	187	802	3,317
手足口病	9	7	10	8	34	177
伝染性紅斑	75	72	110	97	354	1,152
突発性発しん	72	76	100	93	341	1,121
百日咳	0	5	0	0	5	21
風しん	0	0	0	0	0	9
ヘルパンギーナ	5	2	2	15	24	50
麻しん(成人麻しんを除く)	9	6	10	14	39	52
流行性耳下腺炎	39	33	44	27	143	554
不明発しん症	9	9	10	9	37	124
MCLS	1	2	1	0	4	30
急性出血性結膜炎	0	5	1	0	6	6
流行性角結膜炎	11	22	30	26	89	227
細菌性髄膜炎	0	0	1	0	1	5
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	7
マイコプラズマ肺炎	0	1	1	4	6	36
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	1	1	2
成人麻しん	8	2	7	12	29	38

2007/4/18集計

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・麻しんおよび成人麻しんの定点当たり報告数は2週続けて増加している。いずれも過去5年平均よりも高いレベルで推移しており、特に成人麻しんで高くなっている。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は5週連続して減少し、終息傾向にある。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、過去5年平均よりも低い水準で推移している。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、全国では高い水準で推移しているが、東京都では過去5年平均とほぼ同レベルである。

※ 定点医療機関からのコメントは13ページをご覧ください。

五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年16週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月	1	2	1		10	4			1
～11か月	2	10	3		76	11		1	49
1歳	2	19	16	4	154	23	2	1	37
2歳		37	6	12	89	44	3	5	3
3歳		50	6	22	74	29	1	8	2
4歳		44	18	37	70	28	2	11	
5歳		44	7	48	61	20		22	1
6歳	1	66	2	40	42	8		15	
7歳		40	3	17	37	6		10	
8歳		34		22	26			10	
9歳		26	3	19	20	3		6	
10～14歳		69	2	17	43	9		4	
15～19歳		65		3	15				
20～29歳	3	89		22	108	2		4	
30～39歳		73							
40～49歳		48							
50～59歳		12							
60～69歳		15							
70～79歳		7							
80歳以上		1							
合計	9	751	67	263	825	187	8	97	93
先週比	-1	-358	32	62	34	-44	-2	-13	-7

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月									
～11か月				3				2	
1歳			2	1	1		3	4	
2歳			3		4			2	
3歳			1		4		1		
4歳			1		5		1		
5歳					2		2	1	
6歳				2	3		2		
7歳				1	2				
8歳			1		2				
9歳							1		
10～14歳				3	3		1		
15～19歳				2					
20～29歳			7	2	1				
30～39歳							8		
40～49歳							3		
50～59歳							2		
60～69歳							1		
70～79歳							1		
80歳以上									
合計	-	-	15	14	27	-	26	9	-
先週比	0	0	13	4	-17	-1	-4	-1	-1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年16週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					1					
中央区		13		5		2		1	1	
みなと	5	14	12	24	34	7		5	4	
新宿区		22	4	5	29	4			1	
文京		5		7	11	6			4	
台東	2	3	4	5	20	13	1	9	1	
墨田区		13		3	18	4	1	4		
江東区		20		9	34	3		2	8	
品川区		5	2	8	59	7		3	5	
目黒区		15			7	2		2	1	
大田区	1	69	10	19	52	13	1	4	6	
世田谷		52		9	52	10	2	8	5	
渋谷区		14	2	1	25	10		5		
中野区		24		4	32			2	2	
杉並		30	11	17	49	4		3	5	
池袋		15		7	10	2			2	
北区		32		2	19	7	1		6	
荒川区		7	13	2	15	8		2	5	
板橋区		10			19				1	
練馬区		43		13	36	10		5	3	
足立		13		11	36	5		3	2	
葛飾区		25		11	20	7		2	6	
江戸川		25	3	15	36	3		6	2	
西多摩		39		5	23	8	2	2	2	
八王子		19	2	19	14	4		2	1	
南多摩		22		10	21	3		5	1	
町田		41		14	46	21		8	9	
多摩立川		47			12			1		
多摩府中	1	47		7	39	14		10	4	
多摩小平		64	4	31	56	10		3	5	
島しょ		3							1	

東京都合計	9	751	67	263	825	187	8	97	93	-
定点当り報告数	0.06	2.65	0.46	1.80	5.65	1.28	0.05	0.66	0.64	-

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田			1						2
中央区				2		1			25
みなと			5						110
新宿区						5			70
文京				2		1	2		38
台東									58
墨田区									43
江東区			1	1		1			79
品川区									89
目黒区						7			34
大田区			1	4			1		181
世田谷				1			1		140
渋谷区						3			60
中野区			1	3					68
杉並									119
池袋		10	2						48
北区				2					69
荒川区							1		53
板橋区			1						31
練馬区				1		3			114
足立			1	1			2		74
葛飾区									71
江戸川			1	6					97
西多摩									81
八王子				1		1			63
南多摩									62
町田				2			2		143
多摩立川									60
多摩府中				1		2			125
多摩小平						2			175
島しょ		5							9

東京都合計	-	15	14	27	-	26	9	-	2,391
定点当り報告数	-	0.10	0.10	0.18	-	0.68	0.06	-	

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年16週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					0.33					
中央区		3.25		1.67		0.67		0.33	0.33	
みなと	0.83	1.75	2.00	4.00	5.67	1.17		0.83	0.67	
新宿区		2.44	0.67	0.83	4.83	0.67			0.17	
文京		1.00		2.33	3.67	2.00			1.33	
台東	0.67	0.60	1.33	1.67	6.67	4.33	0.33	3.00	0.33	
墨田区		2.17		1.00	6.00	1.33	0.33	1.33		
江東区		2.22		2.25	8.50	0.75		0.50	2.00	
品川区		0.50	0.33	1.33	9.83	1.17		0.50	0.83	
目黒区		2.50			2.33	0.67		0.67	0.33	
大田区	0.11	4.31	1.11	2.11	5.78	1.44	0.11	0.44	0.67	
世田谷		3.25		1.13	6.50	1.25	0.25	1.00	0.63	
渋谷区		2.33	0.50	0.25	6.25	2.50		1.25		
中野区		2.67		0.67	5.33			0.33	0.33	
杉並		2.50	1.83	2.83	8.17	0.67		0.50	0.83	
池袋		3.00		1.40	2.00	0.40			0.40	
北区		4.00		0.50	4.75	1.75	0.25		1.50	
荒川区		1.75	6.50	1.00	7.50	4.00		1.00	2.50	
板橋区		0.83			3.17				0.17	
練馬区		3.58		2.60	7.20	2.00		1.00	0.60	
足立		1.08		2.20	7.20	1.00		0.60	0.40	
葛飾区		2.78		2.75	5.00	1.75		0.50	1.50	
江戸川		2.08	0.60	3.00	7.20	0.60		1.20	0.40	
西多摩		4.33		1.00	4.60	1.60	0.40	0.40	0.40	
八王子		2.38	1.00	9.50	7.00	2.00		1.00	0.50	
南多摩		2.75		3.33	7.00	1.00		1.67	0.33	
町田		4.56		3.50	11.50	5.25		2.00	2.25	
多摩立川		3.62			2.00			0.17		
多摩府中	0.10	2.24		0.70	3.90	1.40		1.00	0.40	
多摩小平		4.57	0.67	5.17	9.33	1.67		0.50	0.83	
島しょ		1.50							1.00	

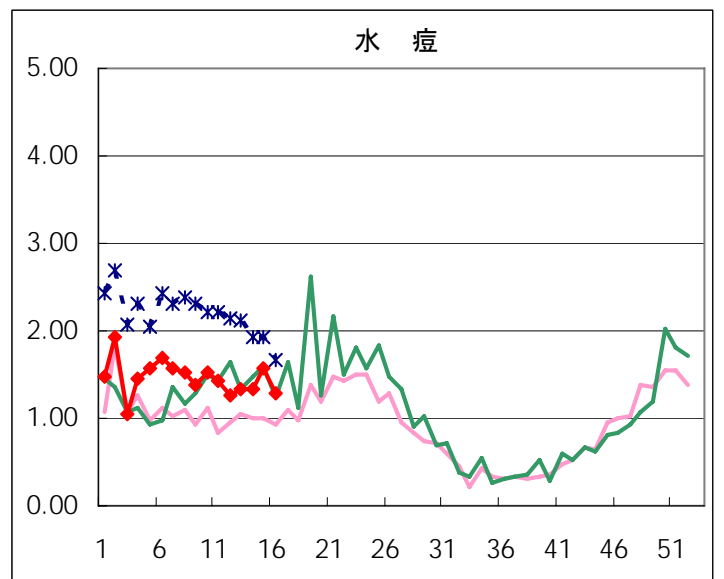
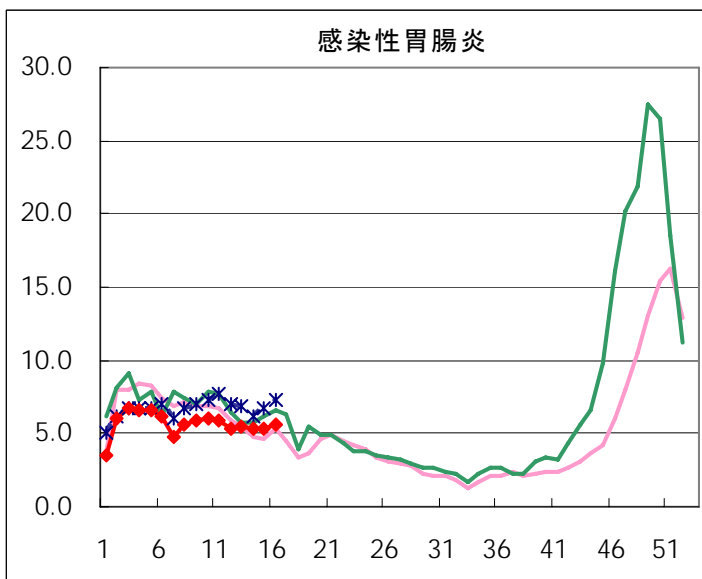
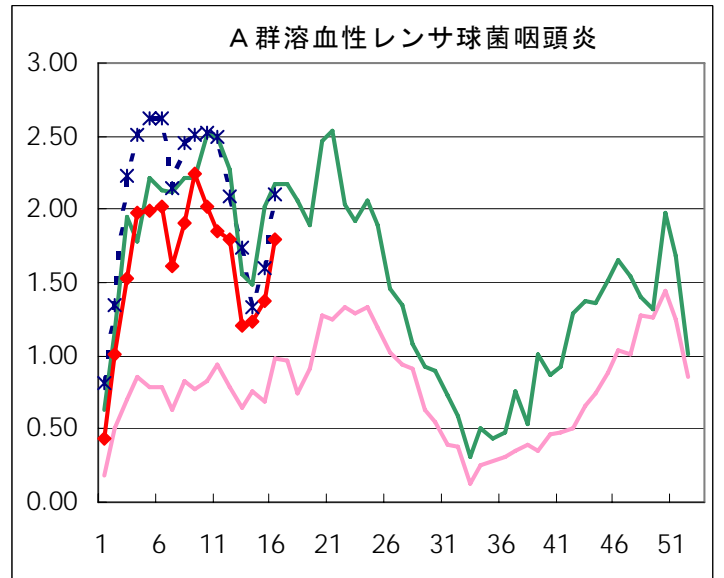
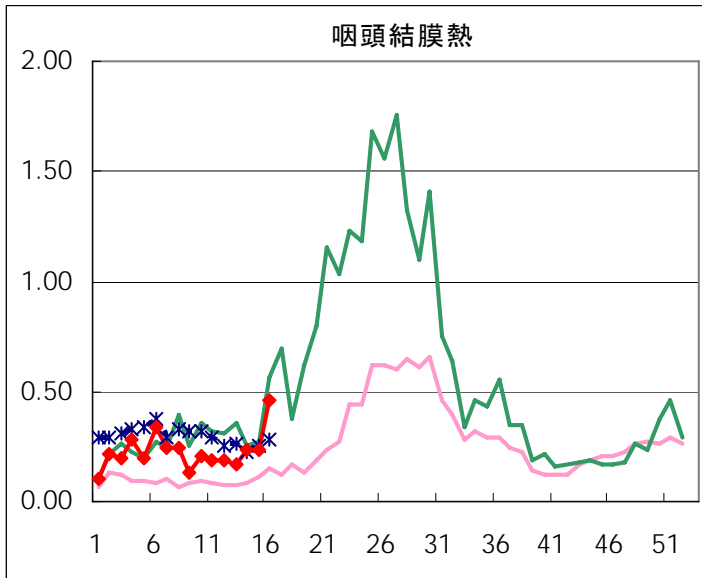
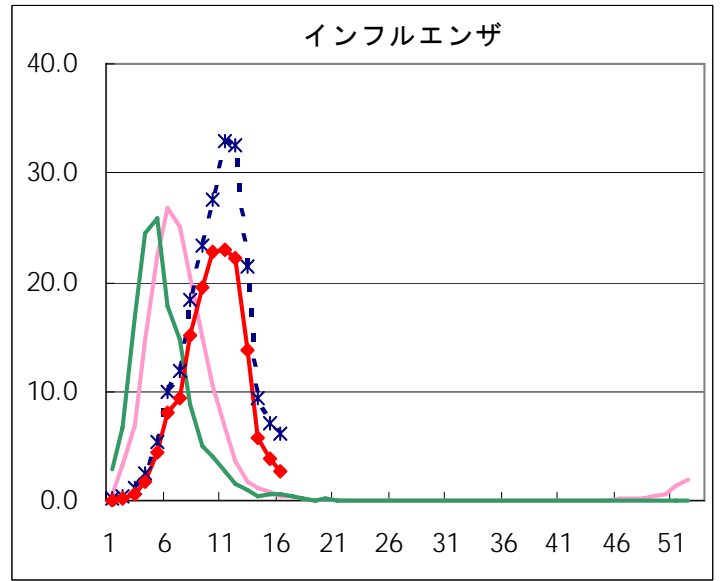
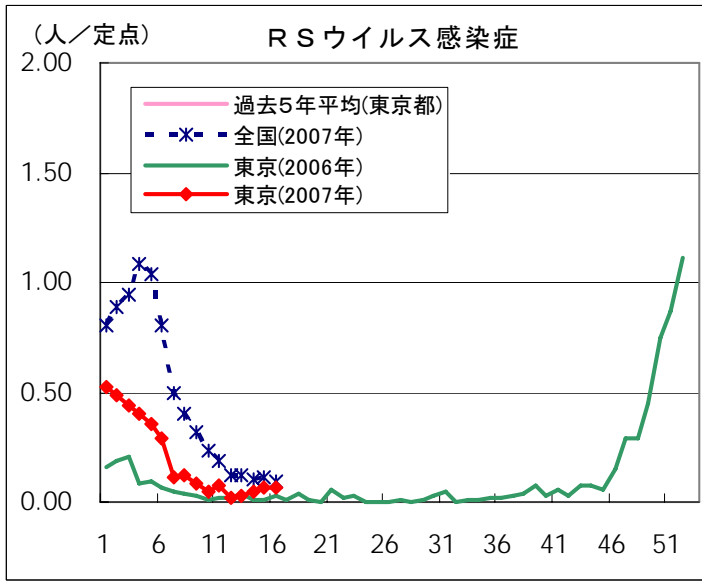
東京都合計	9	751	67	263	825	187	8	97	93	-
定点当り報告数	0.06	2.65	0.46	1.80	5.65	1.28	0.05	0.66	0.64	-

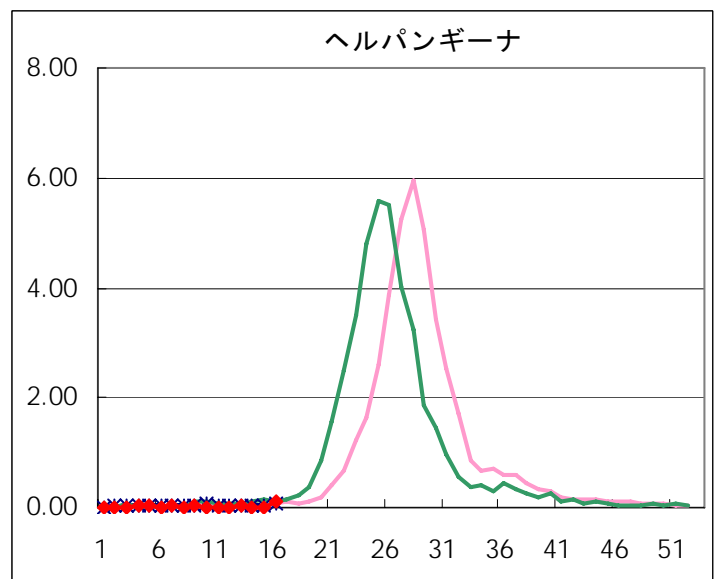
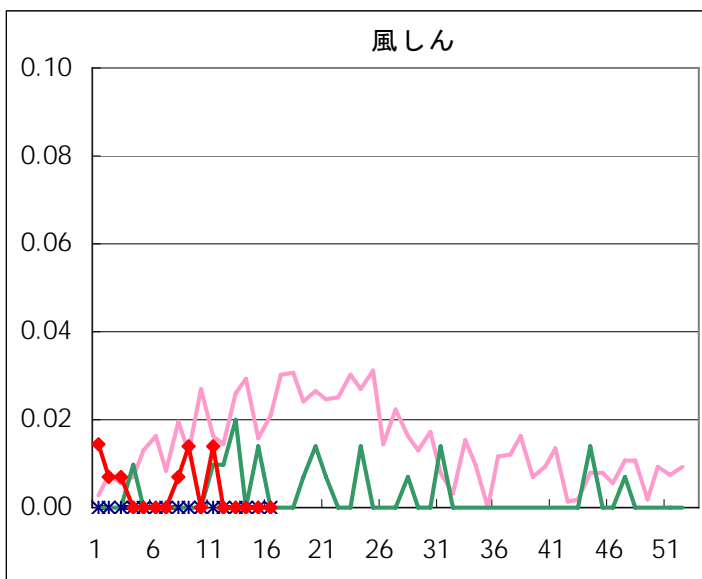
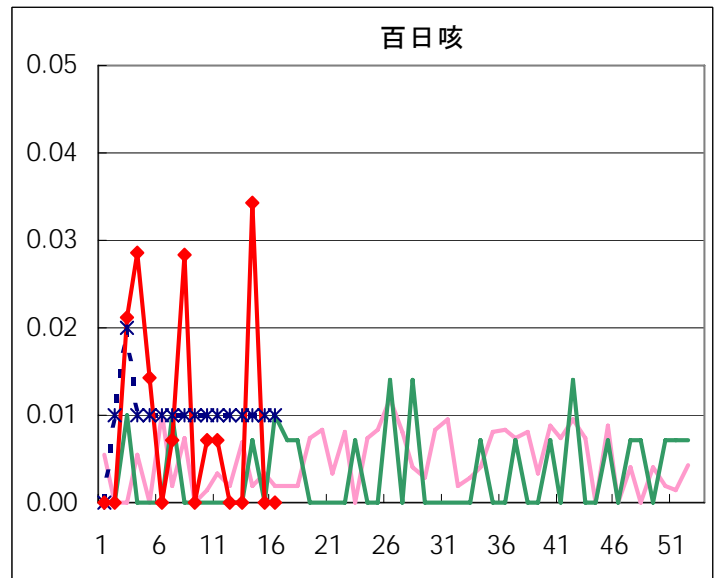
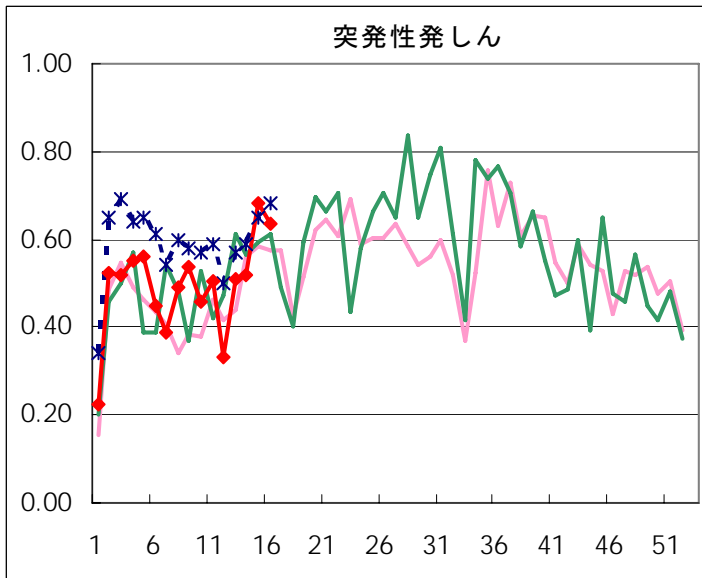
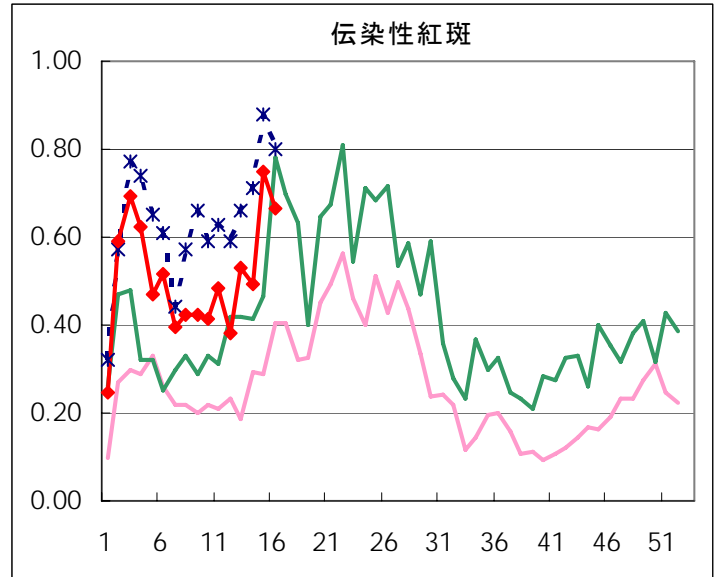
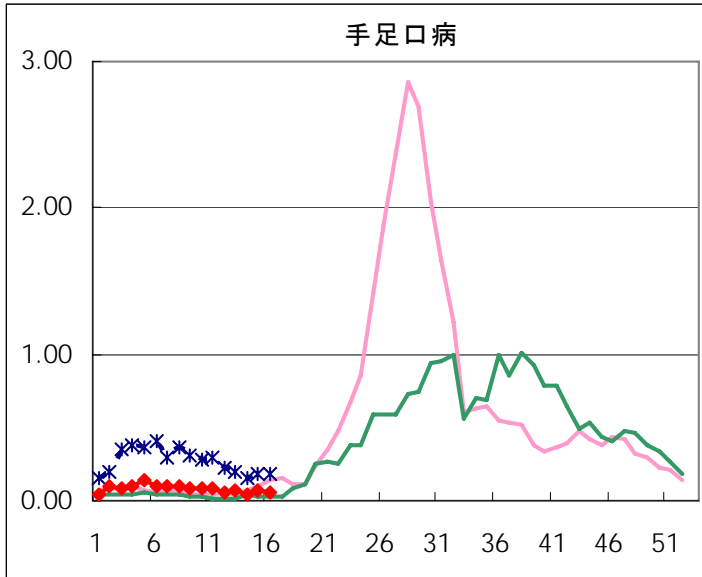
	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田			0.33					
中央区				0.67		1.00		
みなと			0.83					
新宿区						2.50		
文京				0.67		1.00	0.67	
台東								
墨田区								
江東区			0.25	0.25		1.00		
品川区								
目黒区						7.00		
大田区			0.11	0.44			0.11	
世田谷				0.13			0.13	
渋谷区						3.00		
中野区			0.17	0.50				
杉並								
池袋		2.00	0.40					
北区				0.50				
荒川区							0.50	
板橋区			0.17					
練馬区				0.20		1.50		
足立			0.20	0.20			0.40	
葛飾区								
江戸川			0.20	1.20				
西多摩								
八王子				0.50		0.50		
南多摩								
町田				0.50			0.50	
多摩立川								
多摩府中				0.10		0.67		
多摩小平						1.00		
島しょ		5.00						

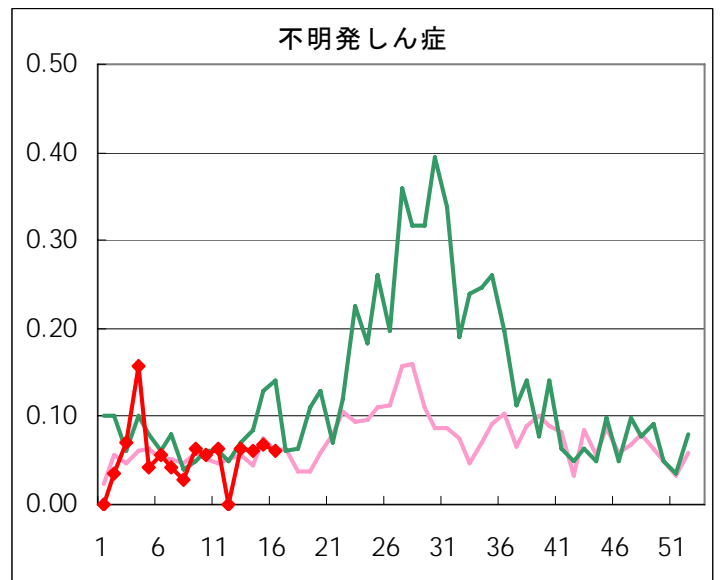
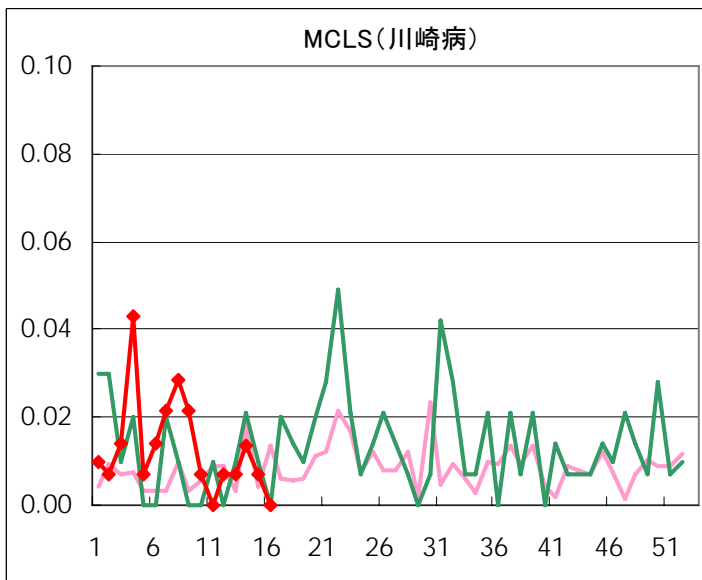
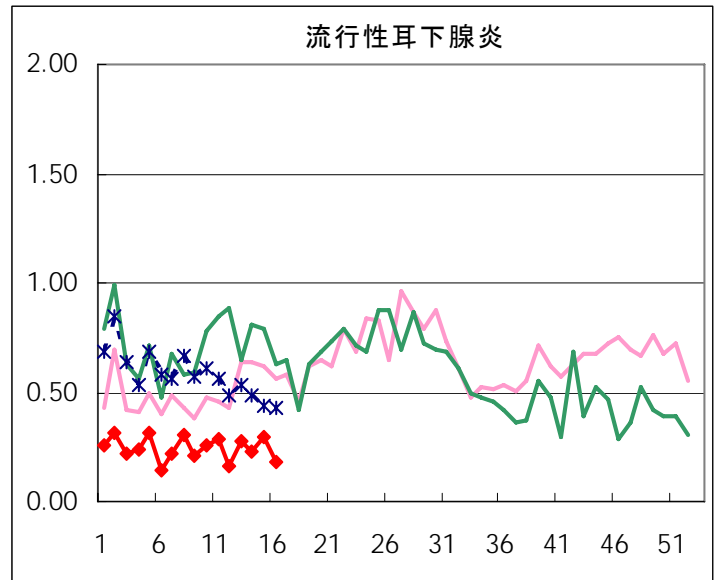
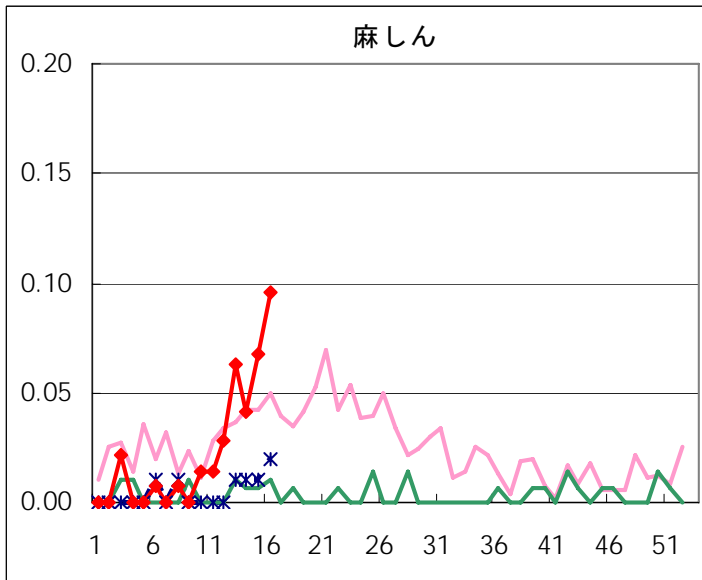
東京都合計	-	15	14	27	-	26	9	-
定点当り報告数	-	0.10	0.10	0.18	-	0.68	0.06	-

五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年16週現在

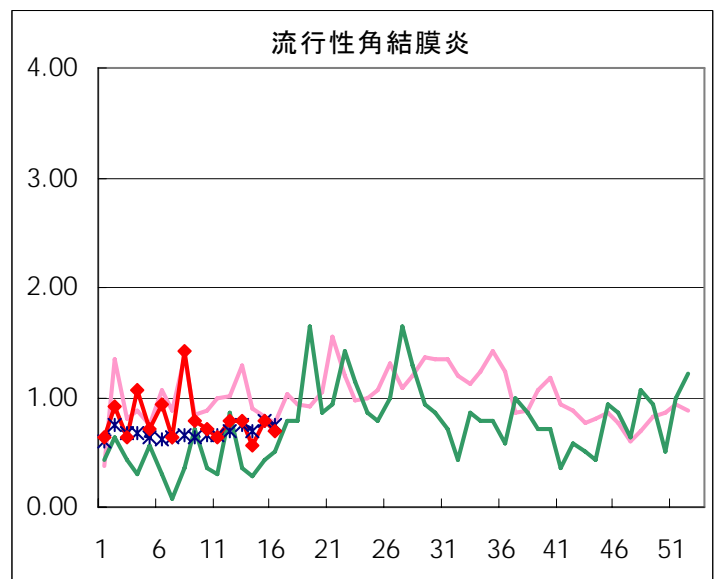
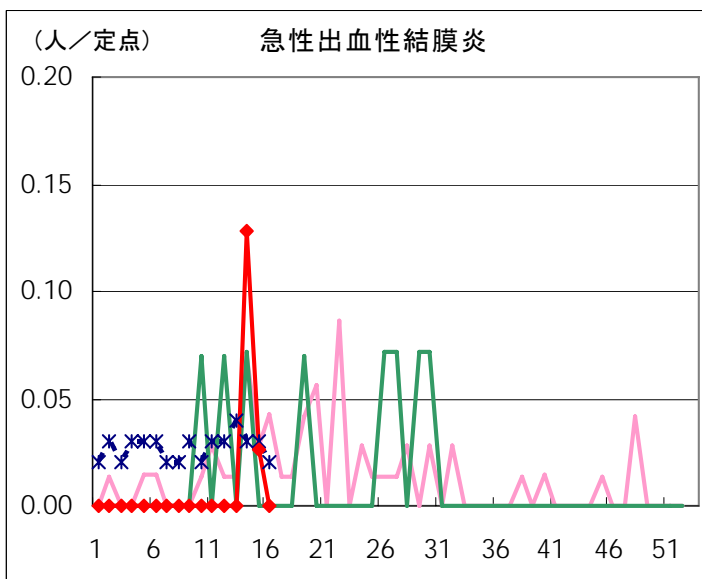
◆ 小児科・インフルエンザ定点



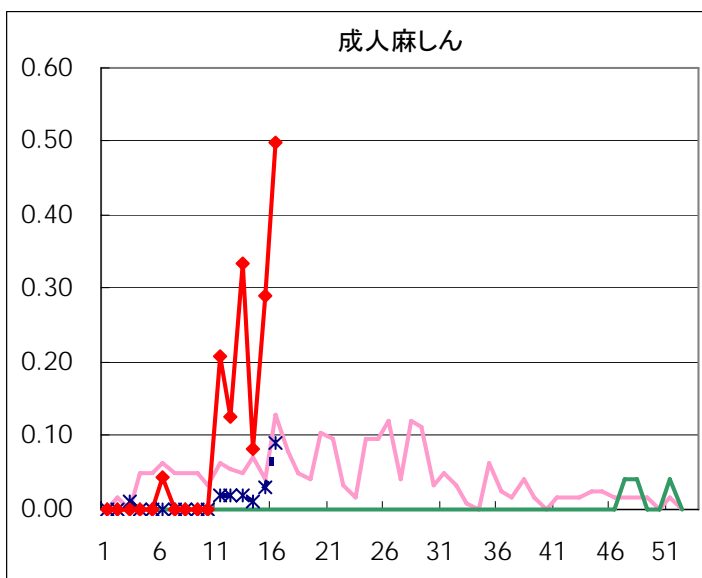
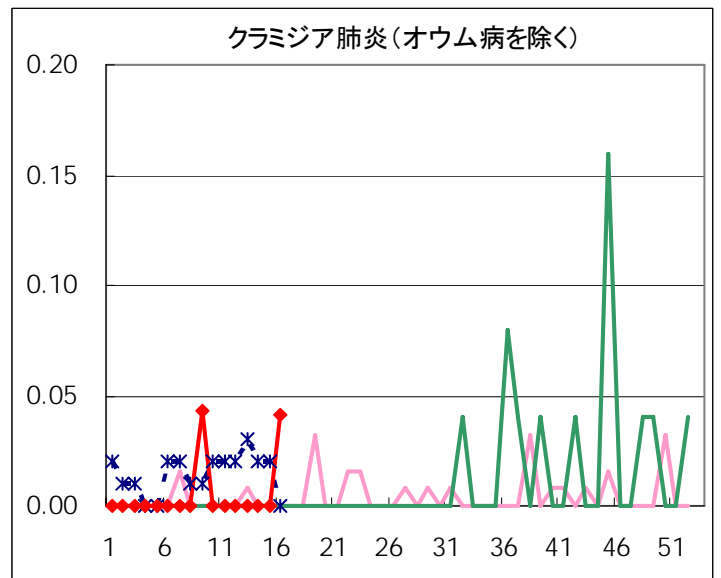
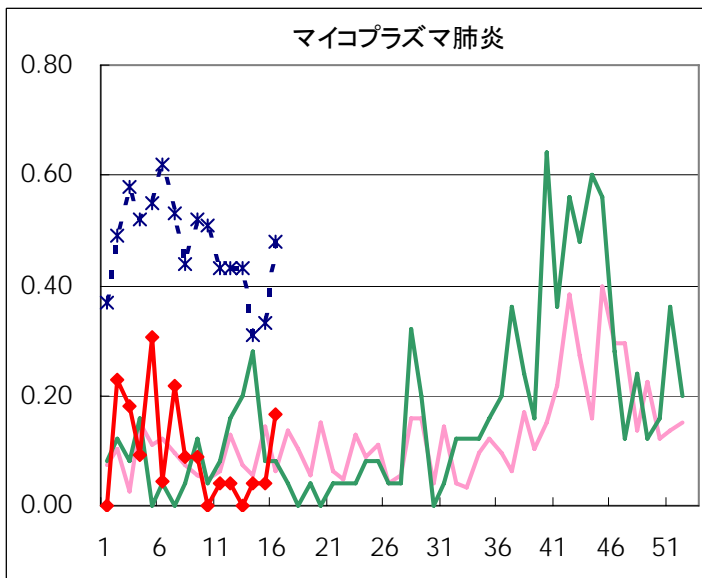
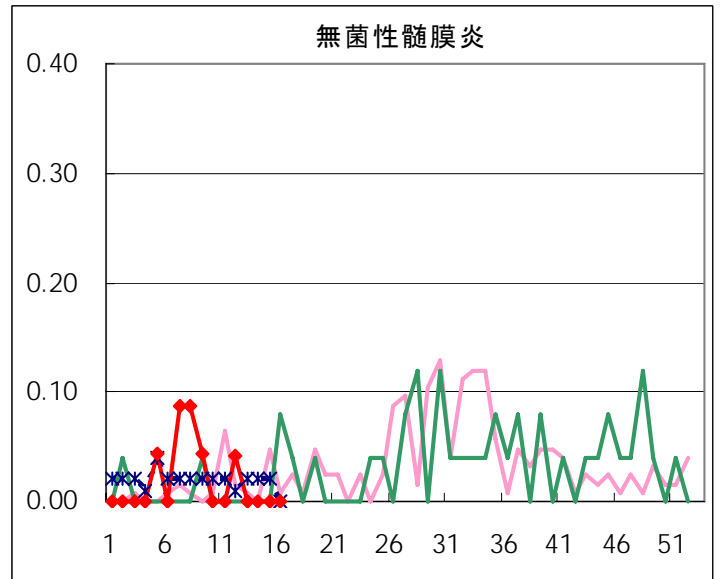
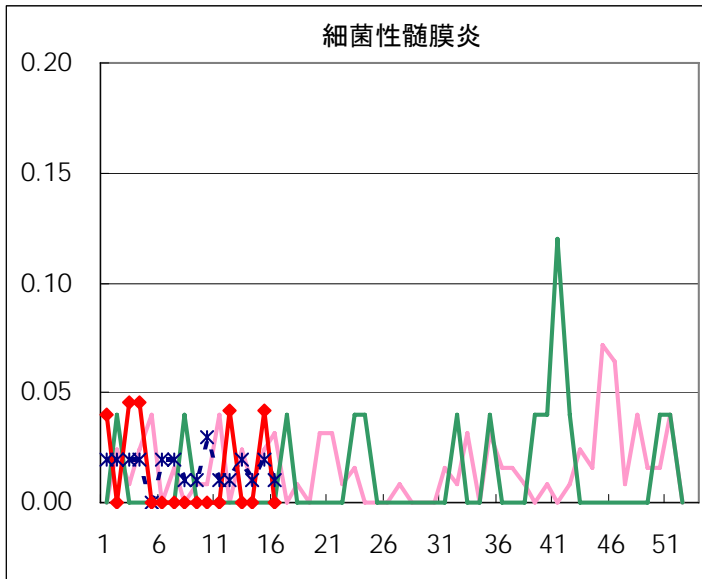




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	287	283
眼科	急性出血性結膜炎	39	38
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	24
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
小児科	成人麻しん	147	146
	上記を除く疾病		

定点医療機関からのコメント

◇インフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントを多くいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関から報告のあった患者に関するコメント
	A	B	
目黒区	2	1	
	4	0	
大田区	2		
	2		
	3		
	1	3	
	1	2	
世田谷	1		B型患者は、年齢区分15～19歳
		1	
	1		
	1	2	
		1	
中野区	11	2	
	1	2	
	3		
	1	1	
	5	2	
北区		1	
	1	5	
		2	
足立	3	1	
西多摩	5	7	B型は、7歳・男女、年齢区分10～14歳・男、15～19歳・女 7歳男はワクチン接種済み
	3	4	
多摩立川	3	3	
	4	1	
多摩小平		4	その他の患者1名
	1		
	7	6	
	5	3	
	1	3	
八王子市	3	2	
	1	6	

◇その他の疾患に関するコメント

* 目黒保健所管内の定点医療機関

流行性角結膜炎 7名:小児の患者が多い。

* 多摩府中保健所管内の定点医療機関

麻しん: 定点以外の医療機関(三鷹市医師会員)から麻しん患者1名 (32歳・女、ワクチン接種歴不明)の連絡がありました。

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
3/31	顔面神経麻痺	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 ヒトヘルペスウイルス7型	遺伝子	
4/3	インフルエンザ	1	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型		
4/3	インフルエンザ	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
4/6	インフルエンザ	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型		
4/6	インフルエンザ	38	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型		
4/6	熱性けいれん	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型		
4/9	インフルエンザ	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
4/9	インフルエンザ	59	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
4/9	インフルエンザ	55	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型		
4/9	インフルエンザ	59	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型		
4/9	インフルエンザ	22	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
4/10	アフタ性口内炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス		
4/10	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
4/10	気管支炎、 喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス		
4/10	伝染性紅班	1	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19		
4/10	伝染性紅班	3	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19		
4/10	伝染性紅班	3	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19		
4/11	インフルエンザ	36	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
4/11	嘔吐下痢症	1	糞便	エンテロウイルス		分離・同定
4/11	急性腸炎	9	糞便	カンピロバクター・フェタス		
4/12	インフルエンザ	26	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	遺伝子	
4/12	インフルエンザ	24	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
4/12	急性喉頭気管支炎	6M	咽頭拭い液	ライノウイルス		
記載なし	インフルエンザ	33	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
記載なし	麻しん	26	うがい液	麻しんウイルス		

週別検査状況 2007年8週～15週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2007年								
		8	9	10	11	12	13	14	15	
ウイルス	アデノ	3	6	7		5	5	3	2	31
	ライノ			4		1	1	3		9
	ポリオ									
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71									
	その他のエンテロ		2		3		1	1	2	9
	単純ヘルペス		1	1						2
	水痘・帯状疱疹	2								2
	ヘルペス6/7	2	5	7	6	2	1	5	2	30
	EB	4	1	2	4			1		12
	サイトメガロ									
	ムンプス			1			1			2
	麻疹				1	1		1	1	4
	風疹									
	パルボB19								3	3
	RS						1	2		3
	ノロ	41	58	73	46	39		1		258
	ロタ		2	1	2		1			6
インフルエンザAH1			3	1		1	3	2	10	
インフルエンザAH3	3	11	19	8	2	14	8	6	71	
インフルエンザB	2	4	11	5	4	9	5	6	46	
デング										
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌	2			3				1	6
	溶血性レンサ球菌		1							1
	MRSA									
	MSSA									
	その他の細菌									
その他の病原体				1	1					2

臨床診断名別検査結果 2007年8週～15週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	179	23	20	746	18		1	6	3	2	3	24	4	6	4		94	
アデノ	5	6	3	2				3	1			1	1		1		6	29
ライノ	2	2	2	1	1							2					1	11
ポリオ																		
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71																		
その他のエンテロ	2	2		1					1	2							1	9
単純ヘルペス	1								1									2
水痘・帯状疱疹														2				2
ヘルペス6/7	3				2		1	2				9					13	30
EB							1					1	3				7	12
サイトメガロ																		
ムンプス													2					2
麻しん				1											3			4
風しん																		
パルボB19											3							3
RS	1	1	1															3
ノロ				258														258
ロタ				6														6
インフルエンザAH1	10																	10
インフルエンザAH3	68	2	1															71
インフルエンザB	40	1	3														2	46
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌				1													5	6
溶血性レンサ球菌																		1
その他の病原体			1														1	2
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	

<感染症豆知識>

チクングニヤ熱

2007年1月、スリランカから一時帰国していた30歳代の女性が、国内初のチクングニヤ熱患者であったことが確認された。チクングニヤ熱は、感染症法・検疫法の対象とされておらず、これまで確認されていなかった。しかし06年10月、検疫所がインド等での流行情報を臨時に発するなど、輸入例の発生が警戒されていた。

病原体はトガウイルス科アルファウイルス属のチクングニヤウイルスである。自然宿主は猿で、ヒトスジシマ蚊、熱帯シマ蚊が媒介し、時に、人→蚊→人の感染環で流行する。

チクングニヤ熱は52年、東アフリカで発見され、現在もサハラ砂漠以南のアフリカ、インド、東南アジアなどで発生している。05年～06年、インド洋の島国（モーリシャス、セーシェル等）で流行し、25万人が感染し、237人が死亡した（死亡率約0.1%）。

臨床症状は発熱・関節痛・発疹の三徴候が特徴的で、関節痛は四肢遠位部に強く、「チクングニヤ」の由来「スワヒリ語で、痛みに苦しみ前屈みになって歩くこと」にもなっている。その他、全身倦怠、頭痛、筋肉痛、リンパ節腫脹、稀に出血傾向を伴うこともある。

実用化されたワクチンはなく、特異的治療もない。対策は蚊に刺されないことであり、流行地では長袖、長ズボンの着用、虫除け剤の使用、蚊の活動が活発な時間帯の野外活動の自粛などが重要となる。

なお、東京都健康安全研究センターではチクングニヤ熱の遺伝子検査（PCR法・リアルタイム法）が可能であり、検査が必要な場合には最寄りの保健所が相談に応じている。

（文責・東京都福祉保健局健康安全室感染症対策課長 稲垣智一）